

PGJI（追加印字ラベル）について

熱転写（サーマルプリンタ）、レーザーなどの印字装置により、最終製品の製造業者(お客様)によって追加の印刷が行われることが評価された印刷済みラベルおよび未印刷のストックを対象にしています。

このカテゴリーの製品は、タック印刷より、なにも加工されていない粘着ロールとして、または、ダイカット(ハーフカット)されたラベルとして、ブランク、または情報を追加印字できるブランクのエリアのある事前印刷済みの状態で納品されます。

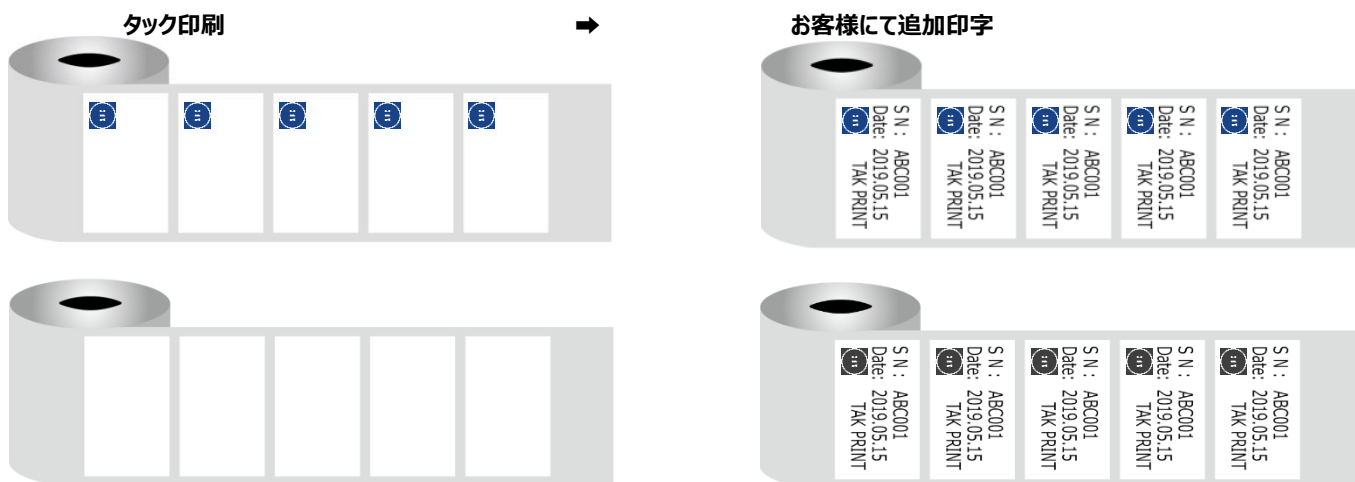
これらのラベルと互換性がある追加印字方式および印字用熱転写インキ(リボン)は、それぞれのカatalog No.ごとに指定されております。

多様な追加印字方式をご用意

タック印刷では、以下の通り、さまざまな追加印字方式を選ぶことができます。Catalog No.（粘着シートとの組み合わせ）ごとに、追加印字方法があります。詳細は、お問い合わせください。

（１）基本的な追加印字方法

タック印刷からブランクラベル（無地ラベル）や一部プレ印刷がされたラベルを納品いたします。お客様の工場にて、指定された熱転写リボンにてシリアルナンバーや製造ロット No.などの追加印字がオンデマンドに可能となります。



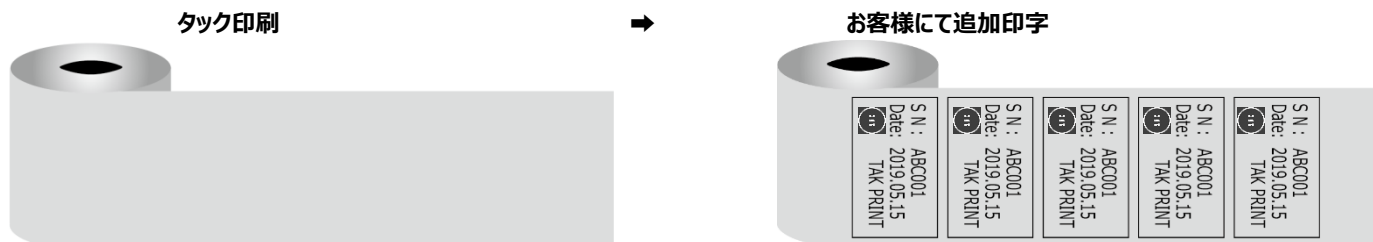
追加印字の印字方式は、タック印刷のCatalog No.ごとに指定されております。

1. 熱転写プリンター： 熱転写プリンター用のリボン（メーカー及びリボン種類）に指定があります。
2. レーザーマーカ： レーザーマーカの機種・メーカーが指定されています。

詳細は、各Catalog No. の資料をご覧ください。また、タック印刷までお問い合わせください。

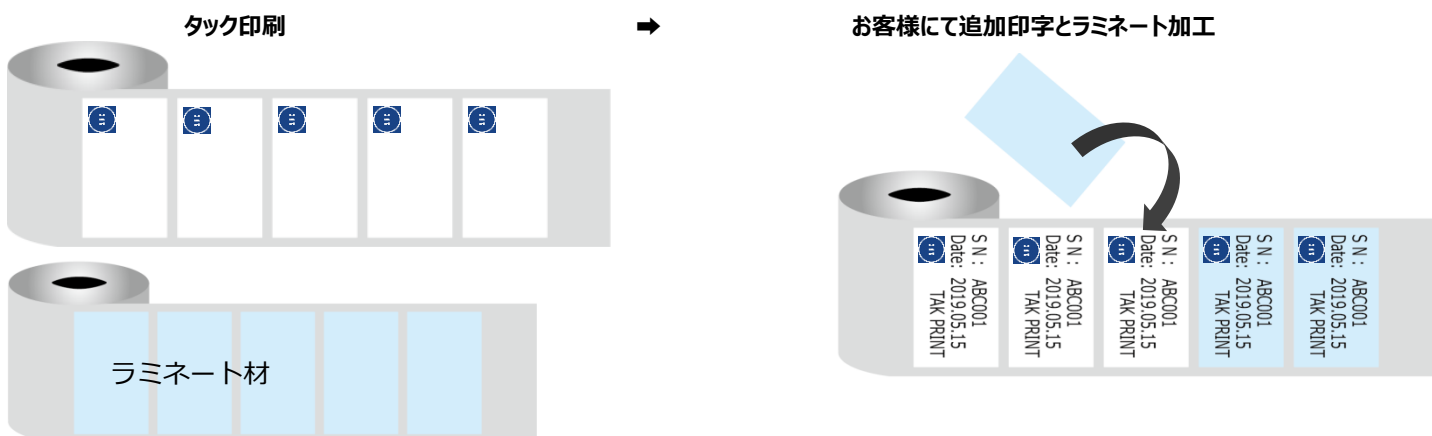
(2) お客様の工場にて、追加印字をし、ラベル形状にカットも行う方法

熱転写プリンターとラベルカットの一連の加工が可能な印字装置をお持ちの場合、またレーザーマーカールにてレーザーマーキングとラベルカットを行う場合は、タック印刷より、なにも加工されていない粘着ロールを納品いたします。UL 現品ラベルを貼り付け納品いたします。お客さまで印字加工をして、PGJI のカテゴリーの UL ラベルとなります。



(3) お客様の工場にて、追加印字をし、ラミネート加工を行う方法 その1

お客様の工場にて熱転写プリンターにて追加印字後に、ラベル表面にラミネート加工をすることも可能です。その場合、ラミネートも UL969 にて評価されたラミネート材を納品いたします。ラミネートはお客様にて可能です。この追加印字加工方法は、オプションの規格です。詳細は、別資料の【PGJI: Overlamination by End-user オーバーラミネーションオプションについて】をご覧ください。



(4) お客様の工場にて、追加印字をし、ラミネート加工を行う方法 その2

お客様の工場にて、追加印字→ラミネート加工→ハーフカットの一連の印字装置をお持ちの場合、タック印刷より、なにも加工されていない粘着ロールを納品いたします。UL 現品ラベルを貼り付け納品いたします。お客さまで印字加工をして、PGJI のカテゴリーの UL ラベルとなります。(3) 同様にオプションの規格となります。

